

令和3年度

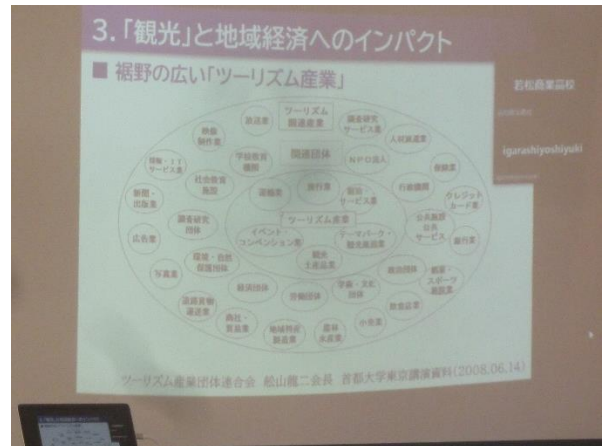
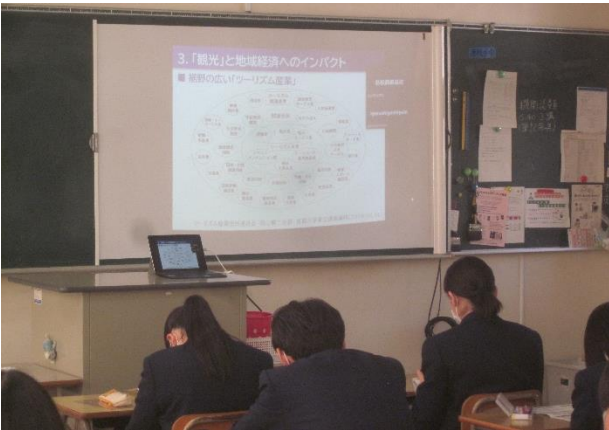
「福島イノベーション・コースト構想の実現に貢献する人材育成」について

「福島の復興」を目的とした「福島イノベーション・コースト構想の実現に貢献する人材育成」のプログラムの全日程が2月24日（木）で終了しました。本校では、「観光」と「情報」の2点から福島の「復興」の貢献できないかと考え、本年度はコロナ禍でも対応できるように、大学の先生方の講話をICTの環境を活用して、オンライン授業形式で行いました。

会計ビジネス科では、会津地方の地域活性化に必要不可欠である「観光」にスポットを当て、地域復興の現状や観光業の果たす役割、観光と公共交通の結びつき、観光を通じた地域創生といった内容を、福島大学 経済経営学類 吉田 樹 准教授によるオンライン授業を行いました。

- 11/16（火） 「地域活性化に資する観光と公共交通のデザイン」 3学年
- 11/17（水） 「地域活性化（地域の活性と観光）」 2学年
- 2/21（月） 「地域振興と観光」 1学年
- 2/24（木） 「公共交通のデザインから地域づくりを考える」 2学年

この授業を通して、「観光」をツールとした地域活性化の必要性、実際に行われているタクシーデリバリーの可能性と課題などを学び、多様な主体が「できること」を紡ぎあげることで、カタチになる。学生や若者にも「できること」はたくさんあることを知った授業でありました。



情報ビジネス科では、会津若松市が「ICTの拠点地区」である特性を生かし、情報化の現状と将来像を学び、プログラミングに必要な論理的思考力の重要性といった内容を、会津大学 ^{わたのべ} 渡部 有隆 上級准教授によるオンライン授業を行いました。

- 11/26（金） 「ICTとプログラミング」 2学年
- 11/29（月） 「AIとIoT (Society5.0とスマートシティ)」 3学年
- 1/24（月） 「AIとIoT」 3学年
- 2/18（金） 「ICTとプログラミング」 1学年
- 2/21（月） 「ICTとアルゴリズム」 2学年

この授業を通して、開発者の視点とユーザの視点に立ったITの活用の違い、その現状と成長、新たな社会 Society5.0の話、プログラミング教育の必修化の理由などの話を学び、プログラミングに必要な「論理的思考力」の重要性を再確認した授業でありました。また演習も行い、通常の学校での授業とは違ったセンスを見せてくれた生徒も見受けられました。

